

今年度事故の分析結果

作成日：平成28年3月14日
安全管理室 室長 山本達雄

平成27年度2月末時点では、48件の事故の内、構内事故は25件でした。52.08%が構内事故です。

1 最も多いのは、バック事故です。

原因は、安全確認不足です。殆ど左右後方の確認不足です。（場合によっては、確認していない可能性が有ります。）

まずバックを始める前に一旦停止して、左右・後方の安全確認を行って下さい。（3～5秒程度）、

見えづらい場合は、必ず降車して確認する事。

スペースに余裕が有る場合は、バックする場所に対して（バースに対し）真直ぐバック出来る様にすること。

一気にバックせず、途中で一旦停まって再度安全確認する事。

2 今年度、2番目に多いのは、一般道での事故です。

①運転に集中する事。②少しでも窓を開けて、外の音を聞き、周りの状況を把握する事。

③相手は、自分に気が付いていないと思い運転する事。

④車間距離を十分に開ける事。停止時4m、走行時3秒。

⑤急ぎ、焦りは禁物。一般車両の割り込みにいちいち腹を立てない事。

3 入社後、1年以内の事故が、全体の48%有ります。新人の添乗指導を強化して下さい。

そして、特に目立つのが休み前の事故が多いので、出発前点呼時に声掛けをして、各ドライバーに注意を促して下さい。

（埼玉営業所は、休み明け2日目の事故も目立ちます。）

3/12の神奈川県トラック協会での研修で、出た話題は一般車両にドラレコの搭載率が高まっています。

そして、トラックの車線変更に於いて危険な割り込みとして動画で撮られネット（YouTube）で拡散されている事です。

確かに危険な割り込み等も有りますが、そうでないものも有るように感じます。

各車両には、社名が入っています。ネットで拡散している動画には、「この会社は危険！」とのメッセージが入っています。

この動画を見た荷主から注意を受けた会社も有るそうです。

そうならない様、車輛の死角を意識して、十分な安全確認と共に「かもしれない」運転の実践を行うように指導して下さい。

もうすぐ平成28年度が始まります。事故25件以内を目標に安全運転をお願いします。